



福岡貿易会情報誌 福貿ニュース

本年もよろしくお願ひいたします



会 長
並田 正一

新年、あけましておめでとうございます。
会員の皆様方には、日頃から会の運営・発展にご理解・ご協力を賜り、感謝申し上げます。
昨年は、尖閣諸島・竹島を巡る周辺国との関係悪化により、貿易業界、観光業界ともに大きな影響を受けましたが、それに加え、円高やエネルギー問題など、一企業の努力ではカバーできない状況も加わり、あらゆる業種の企業が非常に厳しい対応を迫られた年でありました。
先の総選挙により、政権は交代しましたが、経済の再生は我が国にとって喫緊の課題であり、新政権には、円高傾向の是正や近隣諸国との関係改善などに向けた早急な取り組みが期待される所です。
世界経済の見通しは、引き続き予断を許さない状況にあります。当会では、貿易の振興による地域経済の活性化に向け、関係諸団体との連携をより一層図りながら、会員の皆様の海外ビジネスのサポートに取り組んでまいりますので、引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、本年が会員の皆様にとって良い年になりますことを祈念いたします。



福岡市長
高島 宗一郎

新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。福岡貿易会におかれましては、日ごろより福岡市の貿易振興及び地域経済の発展に多大なるご貢献をいただき、心から感謝申し上げます。
さて、世界や国内の経済状況をみますと、中国・アジア新興国の経済成長に持ち直しの兆しが見えていると言われていたものの、人口減少に伴う市場規模の縮小やデフレ状況の継続など依然として厳しい状況にあります。
こうした情勢に対応しつつ、地場企業の海外展開・国際競争力の強化を図っていくことが急務であり、福岡市としましても、福岡貿易会をはじめとする地元経済団体と連携し、地場企業を支援していくことが重要と考えております。
また、九州経済圏の中心である福岡市には、福岡だけでなく九州全体を牽引していく役割も期待されています。福岡の経済が活性化すれば、九州全体の活気も向上していきます。九州のゲートウェイとしての機能を強化しながら、投資や人を呼び込み、福岡・九州の活性化への取り組みも進めていきます。
今年も福岡市をもっと活気のある都市にいくために、全力で市政運営に取り組んでいきたいと考えておりますので、皆様のご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

平成24年度 会員年末交流会を開催

平成24年11月28日（水）17:00から、当会恒例の年末交流会を西鉄グランドホテルで開催しました。

当日は、約130名の方々にご参加いただき、第1部は講演会、第2部は懇談会という2部形式で開催しました。

第1部の講演会では、小川福岡県知事から『「県民幸福度日本一」の福岡県を目指して』と題して講演をいただき、引き続き行われた第2部の懇談会では、国、県、市などの行政機関をはじめ、在福の外国公館や貿易機関からも多数来賓としてご参加いただきました。

第1部 講演会

小川知事から1時間にわたり、①地方政府の役割と福岡県の取り組みについて②福岡県の国際交流について③グリーン



アジア国際戦略総合特区について④中小企業海外展開支援について⑤観光戦略について⑥県産農産物の輸出促進について講演いただきました。

知事からは、

- ① 地方政府が果たすべき役割を踏まえ、福岡県が持つ特色や強みを活かしながら、県民一人ひとりがこの県に生まれて良かったと実感できる「県民幸福度日本一」を目指したい。
- ② 近隣諸国との関係悪化により様々な影響が生じているという時期だからこそ、地域間交流を積み重ねることが重要である。
- ③ 都市環境インフラのパッケージ化によるアジア展開、環境配慮型製品の開発・生産拠点の構築、資源リサイクル等に関する次世代拠点の形成という3つの柱と、それらの取り組みを支える海上高速物流網の整備や中小企業のアジア展開支援により、アジアとの円滑なビジネス環境を実現したい。
- ④ アジア市場の拡大を受け、「福岡アジアビジネスセンター（福岡ABC）」や「海外事務所」といった支援体制の整備をはじめ、「アジア

中小企業経営者交流プログラム」などの事業を推進することで、県内企業のグローバルなビジネス展開を支援していきたい。

- ⑤ 「九州観光推進機構」との連携、国内外から九州を訪れる観光客を一人でも多く福岡県に滞在・宿泊させる「福岡プラスワン戦略」（福岡でもう一か所、もう一泊、もう一食）を推進するほか、「修学旅行の誘致」、「産業観光の推進」、「クルーズ船の誘致」にも力を入れていきたい。
- ⑥ 海外バイヤーとの商談会や福岡ブランドマークである「まるふくマーク」を用いた販売促進フェアの開催、さらにはJAグループ等とともに設立した「福岡農産物通商(株)」を通じた販路開拓により、28年度には輸出額20億円を目指したい。など、参加者を前に熱く語っていただきました。



第2部 懇談会

第1部に続いて知事にもご参加いただき、福地副会長の乾杯のご発声によりスタート。

和やかな雰囲気の中、会場では名刺交換や懇談が活発に行われ、最後は、土屋・角川両副会長の博多手一本により終宴となりました。



福地副会長による乾杯



来賓紹介



新会員のご紹介



懇談の様子



懇談の様子



土屋・角川副会長による博多手一本

特別寄稿

レアメタルの確保と製品開発

日本タングステン株式会社
社長 馬場 信哉



当社は1931年創業以来80年以上に亘り、粉末冶金技術を駆使して種々の材料を使った製品を製造販売してまいりました。現在ではタングステンを主材料とした金属製品、タングステンの炭化物を主材料とする超硬合金製品、ファインセラミックス製品など種々の材料の製品を製造販売しております。

当社にとりましては、タングステン原料の安定的な調達先の確保は極めて重要で、仕入価格を考慮しながら備蓄等の対応策にも継続的に取り組んでおります。一方、製造拠点の中国シフトも90年代初頭より開始し、現在、中国には製造子会社3社、販売会社1社の体制で中国国内や日本への輸出も含め、その製造販売体制の構築を進めてまいりました。昨年は尖閣問題等が引き金となり、9月に中国各地で反日デモが起きたものの、当社中国子会社においては、幸い大きな被害はありませんでした。しかしながら、この事件によりカントリーリスクの存在を改めて強く認識させられました。

タングステンは埋蔵量自体が少なく、特定地域に偏在するレアメタルの一つで元素記号はWと表現されます。極めて熱に強く（融点3,380℃）、硬くて強い（炭素と化合するとダイヤモンドの次に硬い）性質をもっており、電球のフィラメント、コピー機や空気清浄機のコロナ放電線といった用途に用いられ、新興国の成長とともにタングステンの獲得競

争は激しくなっています。また、産地は中国、ロシア連邦、カナダ等となっておりますが、中でも中国が大きな割合を占めています。その埋蔵量は中国が65%を保有し、産出量に至っては約85%を占めております。2011年の中国におけるタングステン精鉱の産出量は13万5千トンに達し、前年比4.6%増で史上最高でしたが、安定的な調達という観点から見た場合、他国からも並行して調達することは様々な意味で重要だと思えます。

安定的なレアメタル原料の確保については中長期的に見れば、やはり大事なのは海外への依存度を下げていく事だと思います。レアメタルの代替・低減技術の確立は、経済産業省も重要な政策と位置づけており、海外資源の確保、リサイクルの推進、代替材料の開発、レアメタルの備蓄を打ち出しています。これらの政策は、最終的には製品の安定供給という形で日本のみならず世界にも利益をもたらすものと考えられます。最近では日本近海に眠るレアメタルなどの鉱物資源の調査を本格化させて、国内最東端の南鳥島沖で資源量を調査するほか、先端的な海底掘削技術の確立に向けた水中実験が行われており、「将来の資源」との位置付けで、レアメタル資源の海外依存度を低減する効果が期待されます。

当社はレアメタルを使った製品を数多く生産販売しておりますが、世界ではグローバルな市場競争が当たり前になり、商品寿命はどんどん短くなり価格競争も激しさを増しています。より価値の高い商品を創出できるように、コア技術を強化しながら、継続して商品開発に取り組んでいくことが将来のためにも重要と考えています。当社は経営ビジョンとして、新技術・新商品の創出、ものづくりの強化、人材育成を掲げて、中長期的な成長戦略を進めており、今後も、厳しいグローバル競争を勝ち抜くために、この3つのテーマの達成に向けて継続して取り組んでまいります。

最新中国事情

三井物産株式会社
九州支社長

執行役員 福地 和彦
(福岡貿易会副会長)



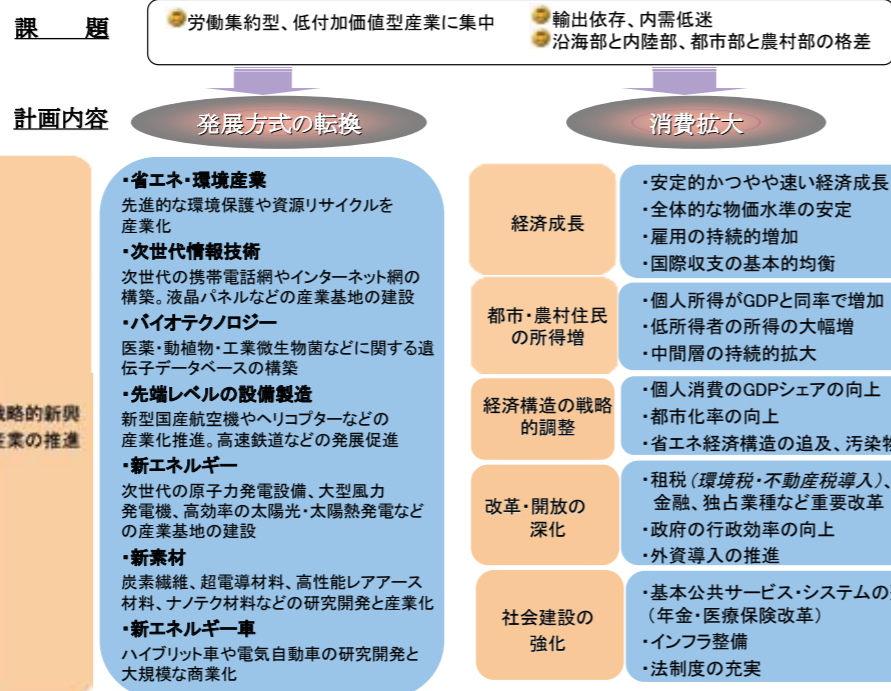
昨年7月の中国重慶・北京出張から帰国後、現地会議で話題となった江蘇省で日本の自動車部品メーカーの誘致支援を行っている元トヨタ自動車上海トップの方をお呼びし、九州の自動車関連産業の方々にお役に立ちたいと思い「中国自動車産業の現状と将来」という題目のセミナーを企画しました。その後、尖閣諸島国有化を機に日中は緊張関係となり、この時期のセミナーに皆さん参加されるだろうかと不安を抱えながら11月20日開催することにしました。九州経済連合会と福岡貿易会に主催をお引受頂き、又福岡商工会議所他経済団体のご協力もあり、当初予想を遥かに超える250名程の参加となり、「中国」に対する興味の大きさを改めて肌で感じる事が出来ました。

さて昨年11月の中国共産党第18回大会で習近平氏が総書記に選出され、中央軍事委員会主席にも就任、名実ともに胡錦濤政権から習政権への移行が決まりました。3月の全国人民代表大会で、習近平氏は国家主席に、李克強氏が国務院総理に選出される予定となっております。更に政治局常務委員7名と中央政治局員の派閥・年齢(就任時に67歳以下が内規)から、5年後は習近平・李克強再任(他5名は退任)と胡錦濤派の新任が読み取れます。新政権の政策は、前政権の政策を踏襲、建国100年にあたる2049年までに「和諧社会」(格差を是正し調和のとれた社会)の実現を目指すと言われていますが、日本との関係はどうなるのでしょうか。

セミナーでは中国の現状について、三井物産戦略研究所の方に解説して貰いましたが、聴講して改めて気付いたことをいくつか紹介します。初めに、「中国の世界一」と日本の貿易現状です。人口13億4735万人、輸出高1兆1812億ドル、外貨準備高3兆1812億ドル、粗鋼生産量6億8327万トン、自動車生産量1842万台、同販売量1851万台、携帯電話生産量11.3億台

いずれも世界一(2011年数値)、日本の貿易総額に占める割合は1990年3.5%、2011年は20%を超え米国の12%強を上回ります。又金額でも、電子部品を中心に輸出12.9兆円、衣類を中心に輸入14.6兆円と米国の夫々10.0兆円と5.9兆円を大きく上回ります。世界第2と第3位の経済大国間の経済面での繋がりは極めて重要と解ります。中国も更に外国の直接投資受入れの為には日本との関係維持は不可欠です。次に、これからの経済です、昨年の党大会では主要な経済政策の方針が確認され、任期僅かの胡錦濤総書記が、今後7%の成長率を前提に、2020年に2010年比GDPを倍増する目標を発表しました。既に発表されている第12次5カ年計画の通り、経済の発展方式の転換が最重要です。労働集約型、低付加価値型から付加価値型産業へ、輸出依存から内需・消費拡大への転換です。この為には、図表にある計画の実行が重要であり、日本はこの転換に合せFTAの早期締結等中国に関わっていく必要があります。より付加価値の高い製品の生産拡大が進むと、日本での製造業空洞化の懸念も高まりますが、内需・消費拡大にともない「市場としての中国」が益々重要になり、日本からの輸出と内販拡大、製造業に加えサービス業への投資拡大、関連産業の物流・金融・IT分野での新たな商機も増えます。最後に日中外交ですが、元々胡錦濤氏は親日派と評されてきましたが、尖閣諸島国有化を巡る衝突により強硬姿勢になったと言われております。習近平氏は、親日でも反日派でもなく、日本に対する態度は未知数ですが、少なくとも3月の全国人民代表大会まで日本への歩み寄り期待できないでしょう。自民党が政権を取りましたが、今後の日中関係の改善が望まれる所です。

中国の第12次5カ年計画(2011-2015)



出典:(株)三井物産戦略研究所



もう一段階、跳躍する韓・九州 経済交流を期待して

駐福岡大韓民国総領事 趙 廷元 趙 廷元

福岡市中央区地行浜1丁目1番3号
☎092-771-0461 FAX092-771-0464



どこよりも韓国と深い縁を結んでいる九州

2010年3月に赴任する前、前職の総領事や西日本新聞社のソウル特派員などを通じて、福岡に対する基礎知識を得る機会はありませんでしたが、赴任後の勤務過程で、韓国と九州の関係は私が思っていたより、ずっと幅広く、深いことが分かりました。

韓国と九州は、昔から歴史的に密接に繋がっているだけではなく、距離も近く、ソウルー福岡は、福岡ー東京の距離の半分に過ぎず、これを基に様々な人的・物的交流が活発に行われています。実際に、九州地域に入国する外国人の入国者数の内、韓国人の比重が約65%を占めています。

韓・九州海峡圏知事会議('92年～)、韓・九州経済交流会議('93年～)、釜山ー福岡超広域経済圏事業('08年～)など、様々な両者、多者協議体が存在し、九州地域の自治体間の姉妹・友好都市協定も42にのぼります。

九州と韓国を繋ぐ交通便も、航空便が9路線(週140便)と海上旅客便が3路線(週43便)が運営されており、事実上の一日生活圈が形成されています。

貿易面においても対韓輸出額(2011年基準)が1兆1,448億円で、日本全国の対韓輸出比重の21.7%を占め、輸入も12.5%(3,955億円)を占めるなど、韓国との貿易で九州の占める比重は、相当高く現われています。

九州の重要性を反映するように、福岡には韓国貿易センターの支社と韓国観光公社の支社が、随分前から設立されています。

積極的な企業誘致など、より緊密な戦略的連携が必要

九州と韓国が、他のどの地域よりも地理的・歴史的・情緒的に近く、多様な経済交流が試みられていますが、「化学的結合」という観点から見ると、

まだ充分ではないという気がします。

九州地域企業の韓国への直接投資額は、日本全体の7%未満の水準(2011年6.9%、2010年3.5%)で、九州に進出した韓国企業数も30社未満で日本の他の地域に比べて相対的に低調なのが実情です。貿易と人的往来は活性化されていますが、両国の企業が相手地域に根付いて堅固な協力関係に発展して行く姿はまだ明確ではありません。

最近、自動車、再生エネルギー、節電、食品産業など、双方に利益になるブルーオーシャンの領域が多数出現しています。グローバル経済が加速化される状況で、韓・九州が相互貿易の拡大を越えて世界市場を共同開拓して行くためには、関連企業同士がお互いを信じて固く手を握り、緊密な協業体系を構築しようとする努力が必要だと思えます。

福岡貿易会が、今まで九州ー韓国間の貿易拡大と、より堅固な経済協力関係の構築のために様々な努力を傾けて下さったように、これからも両国企業の戦略的連携のために多角的に協力して下さることを期待しています。当総領事館も韓国貿易センター福岡支社と緊密に連携して、福岡貿易会の活動を積極的に支援して参る所存です。



(前の左から) 李元卿領事・許承宰副総領事・趙廷元総領事・柳珉錫領事(後ろの左から) 元喆俊領事・鄭吉亨副領事・文秉赫領事・柳然燮副領事・朴在参副領事

上海通信

— 中国の医療事情 —

みなさま、明けましておめでとうございます。中国では旧正月を祝いますので今年は2月10日が新年となります。従来お正月は日本と同じく帰省して家族と過ごす人が多かったのですが、最近はやはり海外旅行へ出かける人も増えて来ています。去年までは訪日旅行も人気でしたが、今年は諸事情もありタイ、韓国、台湾、東南アジア諸国辺りを選ぶ人が多いようです。色々ありますが今年も頑張ってまいりますのでよろしくお願いたします。

中国の医療事情

上海に赴任してもうすぐ2年が経ちますが、その間2度ほど病院へ行きました。一度目は喉風邪をこじらせてしまい、日本から持って来た各種風邪薬、こちらの薬局で購入した薬も試しましたが全く効かず、病院へ駆け込んだ訳ですが、病院でもらった薬も全く効きませんでした。結局一か月ほど耐えて自然治癒しました。周りの日本人に聞いたところ、赴任して半年くらいの人はこの喉風邪になる人が多いらしいです。上海では毎日天気予報の際、洗濯指数等とともにPM2.5(直径が2.5μm以下の超微粒子)の数字も発表され、数値が高い日は注意喚起がされています。数年前に比べると空気も随分キレイになりましたが、それでもまだまだこれからという感じ。中国でもジョギングがブームですが、市街地を毎日走るのには個人的にはお勧めできません。

二度目は歯の詰め物が取れたため歯医者へ行きました。ネットで検索したところ九州大学卒の中国の方が開業しているクリニックが家の近所にあったため親しみを感じてそこに決定。行ってはじめてわかりましたが、料金前払いが一般的のようです。虫歯一本の治療で3,000人民元(約40,000円)、高いなあと思いましたが背に腹は変えられず支払いを終え治療へ。私の担当医師の方は日本語は話せません

上海代表処 所長
榊原 英明



でしたが治療も丁寧で安心できました。一回目で型取り、二回目銀歯を埋めて治療終了です。日本の健康保険の適用があると教えてもらったので申請書類をもらい後日請求したところ約10,000円戻って来ました。実際にかかった額の70%ではなく日本で治療した場合の保険点数に換算されてその分補填してくれるようです。

救急車は有料、病院も先に精算が必要

万が一事故に遭った時のことも考え救急車についても調べてみました。周りの人の情報はさまざまでしたが、料金が発生するのは間違いなさそうです。通報した人が払わないといけないとの情報もありました。以前日本のメディアで、事故に遭った人を誰も助けずに放置した中国の事件が取り上げられたことがありましたが、こういう事情も関係しているのかもしれない。ちなみに電話番号は120番です。弊社スタッフが出産時に救急車を利用した際は75人民元(約1,000円)。病状や走行キロ数に応じて料金も上がっていくようです。料金は直接救急車のスタッフに現金で支払いその場で領収書をもったそうです。

一般的なこちらの病院では到着してから日本とはシステムが違います。全ての項目において受付をした後、先に支払を済ませないと検査や治療は開始されません。病気又は怪我をして健康でない状態の人が病院に行く訳なので、もし付き添いの方がいない場合かなり大変だと容易に想像できます。以前骨折をして病院へ行った友人は、松葉杖がないと歩けない状態にも関わらず松葉杖を購入するため先に支払を済ませる必要があり、這うようにしてどうにか精算所へ辿り着いたという話を聞きました。こちらの諸事情に合わせた制度でしょうが、日本の生活に慣れているとなかなか衝撃的です。

先進的な取り組みも

中国は現在保険を含む医療制度の改革を進めている途上にあります。先日、先進的な取り組みをしている病院を視察する機会がありました。処方箋の自動配布機(処方箋のレシートを機械に挿入すると処方薬が自販機のジュースのように出てくる仕組みです)や、無償でレンタルできる車椅子もありました。上述の支払いのシステムについてもワンストップサービス等改善に取り組んでいるそうなので、今後の取り組みにも大いに期待するところです。



第7回 貿易英語ひとくちメモ

クレーム対応① 「不良品」の言い方

末次通訳事務所 代表 末次 賢治

海外企業との貿易取引では想定外の問題発生が付きもの。海外企業/消費者からの貴社への苦情やクレーム申し立てもその1つです。

当連載・第4回で、「海外からのクレーム電話への対処法」を扱いました。今回はコレポンでの対応見本です。「不良品」の表現例です：

お客様からのクレームや苦情の場合、①まず、不便を掛けた事をお客様に誠実に詫言、②問題の調査をする為、時間を頂きます。例えば、いわゆる「お客様側が主張する【不良品】を返送して貰い、③あらゆる問題を分析します。④その上で、本格的な対処を行います。クレーム事項に対して、貴社に非がある場合やお客様側に責任がある場合もあります。これを見極めて冷静かつ誠意を以て対応します。

さて、部品納入先の米国企業から「先週納入分の部品に6個不良がある。至急、良品と交換して欲しい」とのemailが貴社へ入りました。そこで、あなたの上司から「次の原稿を英訳し、当該米企業に返信を」と指示がありました。「本日のご連絡痛み入ります。不良部品の6個発生は誠に申し訳ございません。早速、良品6個を手配し、貴社に送付し

ます。」皆様はこれをどう英語で表現しますか?特に下線箇所の英訳が貴社の命運を分けます。相手から「不良部品」と指摘があっても、貴社の落ち度による不良部品かどうか調査が必要ですから、この最初の段階で、【defective parts】と決して言うはなりません。最初から貴社から【defective parts】と行ってしまえば、貴社は不良品発生を認めている事になります。この問題が法的係争になった場合、「貴社は最初から【defective parts】と表現しており、不良発生を既に言葉の上でも認めている」と米企業から言質を取られ、貴社は不利になります。

下線部は次の通り: We're sincerely so sorry for the inconvenience caused by the six parts which were not up to your expectation. と書きます。

「貴社期待に沿ってはいなかった部品」と表現し、were(過去形)にします。過去形を使い、この問題をあくまで過去化してしまい、今現在へ継続する問題ではないとの感じを恣意的に示します。これが、リスク回避目的で英語を使う心得です。

新 会 員 の ご 紹 介

サンライズインターナショナル(株)

・事業内容・・・業務用日用雑貨卸・小売
・代表者・・・代表取締役 大保 和仁
・所在地・・・☎ 812-0004
福岡市博多区榎田二丁目9番38号
SKビル 2階
☎ 092-483-0533 FAX 092-483-0534

弁護士法人 ベリーベスト法律事務所

・事業内容・・・各種契約案件、ITビジネス法務、コーポレートガバナンス、M&A、ベンチャー法務、労働問題、訴訟案件、不動産案件、知的財産など
・代表者・・・福岡支店長 堤 悦朗
・所在地・・・☎ 812-0011
福岡市博多区博多駅前一丁目14番16号
博多駅前センタービル8階
☎ 092-477-5577 FAX 092-477-5581

● ニュースフラッシュ ●

- 10月18日** 株式会社西日本新聞総合オリコミ、香椎パークポートの港湾関連用地約16,500㎡の購入を福岡市と契約（10月17日付）。集配センターを建設し、平成25年に操業開始の予定。
- 11月1日** 株式会社上組、アイランドシティの港湾関連用地19,650㎡の購入を福岡市と契約（10月30日付）。倉庫を建設し、平成27年に操業開始の予定。
- 12月5日** 当会などの主催により「ミャンマー投資セミナー」を開催。ミャンマー大使館からも

公使を迎え、約150名が参加。

- 12月14日** 福岡市、アイランドシティの港湾関連用地2区画を対象に分譲公募を実施（12月17日から）。

新たに制定した「福岡市企業立地促進条例」に基づき、平成24年度から27年度までの4年間に限り、立地交付金を大幅に拡充。

- 12月15日** アイランドシティに福岡市立こども病院が着工。平成26年オープン予定。

福岡貿易会からのお知らせ

これからのセミナー

会員以外の方の受講も可能です。お問い合わせ、お申し込みは、福岡貿易会（☎452-0707）へ

○貿易実務講座（実践編） ※ジェット福岡と共催

実務経験者向け講座及び送金取引におけるロールプレイ など

- ①日 時・・・2月13日（水）、14日（木）
10時～17時
- ②会 場・・・天神121ビル13階会議室
（中央区天神一丁目3番38号 ☎714-5351）
- ③講 師・・・（株）アースリンク代表取締役
曾我しのぶ 氏
- ④受講料・・・会員4,000円 一般10,000円

○食品輸入実務者セミナー

食品輸入実務担当者を対象とした食品の企画基準について など

- ①日 時・・・2月26日（火）
13時30分～16時30分
- ②会 場・・・福岡商工会議所ビル4階 404-405
会議室
（博多区博多駅前二丁目9番28号 ☎441-1110）
- ③講 師・・・福岡検疫所食品監視課
輸入食品相談指導室長
川西一史 氏
- ④受講料・・・無料

○税関セミナー

税関の役割と博多港の貿易概要 など

- ①日 時・・・3月26日（火）14時～16時
- ②会 場・・・福岡商工会議所ビル 407会議室
（博多区博多駅前二丁目9番28号 ☎441-1110）
- ③講 師・・・門司税関福岡空港税関支署支署長
岩見国広 氏
同支署 統括審査官（通関総括部門）
飯塚裕明 氏
- ④受講料・・・無料

事務局人事異動紹介

11月の人事異動により、事務局長の佐村美章が退職し、後任に水町卓典（みづまち たかのり）が就任いたしました。

第2回理事会を開催

当会の今年度第2回の理事会を、11月29日（木）に、福岡商工会議所ビルで開催しました。

議事は次のとおりです。

- (1) 公益法人移行に伴う定款の変更案の一部変更について
- (2) 役員の報酬及び費用に関する規程案の一部変更について

この議案については、全会一致により、臨時総会に付議されることとなりました。

なお、臨時総会は2月1日に開催予定です。

●発行/社団法人 福岡貿易会 ☎812-8505 福岡市博多区博多駅前二丁目9番28号

☎092(452)0707 FAX 092(452)0700

上海代表処 上海市淮海中路398号 博銀国際大厦9楼B2

☎86-21-6385-8815 FAX 86-21-6385-8806

●発行日/平成25年1月22日

●印刷/株式会社西日本高速印刷